

- 問1 鏡湖池のほとりに建ち、金箔が施された三層の楼閣で知られる文化遺産が建立された時期の、外交や経済の背景について述べた文として正しいものはどれですか。 (2016年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 豊臣秀吉による朝鮮出兵が失敗に終わり、東アジアにおける日本の外交的立場が孤立していた時期にあたる。 | 2. 日宋貿易によって大量の宋銭が国内に流入し、貨幣経済が全国的に普及し始めた平安時代末期の時期にあたる。 | 3. 元寇の際の恩賞が不十分だったことから、御家人の生活が困窮し、幕府の権威が急速に衰退していた時期にあたる。 | 4. 幕府が明（みん）との間で、倭寇と正式な貿易船を区別するための「勘合」を用いた貿易を開始し、財政を潤した時期にあたる。 |
|--|---|---|---|
- 問2 後醍醐天皇が主導した「建武の新政」の内容と、その結果について述べた文として正しいものはどれか。 (2026年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 承久の乱で敗れた武士たちの土地をすべて没収して公家に分け与えたため、全国的な武士の一揆が起こり崩壊した。 | 2. 武士の不満を解消するために、源頼朝の時代のような執権による政治を復活させたが、公家の反発を受けて失敗した。 | 3. 強力なリーダーシップで武士を統制し、天皇が直接軍隊を指揮する仕組みを作ったことで、長期間にわたる安定した統治を実現した。 | 4. 天皇中心の政治を目指して新しい方針を次々と打ち出したが、武士の慣習を無視したため支持を失い、短期間で失敗した。 |
|---|--|---|--|
- 問3 14世紀後半、明が民間人の海外渡航や私的な貿易を厳格に制限した「海禁」と呼ばれる政策をとった主な目的として、最も適切なものはどれか。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|----------------------------|------------------------------|-------------------------|
| 1. オランダや清以外の船舶の来航を完全に禁止するため | 2. キリスト教の布教を制限して幕府の権威を守るため | 3. 鉄砲やキリスト教などの新技術が流入するのを防ぐため | 4. 倭寇の活動を鎮圧して国内の安定を図るため |
|-----------------------------|----------------------------|------------------------------|-------------------------|
- 問4 室町時代に発達した「座」の仕組みと背景について説明した文として、最も適切なものはどれか。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 貴族や寺社に税を納める代わりに、他者の参入を防いで営業を独占する権利を認められた。 | 2. 質草を担保にして武士や庶民に高利で資金を貸し付け、幕府の財政を支える有力な財源となった。 | 3. 港や交通の要所に拠点を置き、全国から届く年貢や商品を保管し輸送することを目的とした。 | 4. 幕府が直接管理する組織であり、城下町の整備や市場の税の徴収を主な役割とした。 |
|--|---|---|---|
- 問5 室町時代に足利義満が明との間で開始した貿易では、明の皇帝からの文書に周辺諸国の王が挨拶に訪れている様子が記されており、日本からの貢ぎ物に対して礼をもって対応する形式がとられました。このように、相手国の皇帝の臣下となる形式をとることで成立した正式な外交および貿易関係を何といいますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|----------------|---------|
| 1. 私貿易 | 2. 朝貢貿易 | 3. 不平等条約に基づく貿易 | 4. 自由貿易 |
|--------|---------|----------------|---------|
- 問6 禅宗の僧である雪舟が、墨の一種で風景などを描き出す「水墨画」を大成させた背景として、禅宗が当時の武士に受け入れられた理由をふまえて説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 自ら座禅を組み、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗の教えが、武士の精神的な支えとなったため。 | 2. 加持祈祷を行うことで、現世での利益や病氣平癒を祈る教えが、領地の発展を願う武士の要求に応えたため。 | 3. 念仏を唱えるだけで救われるという簡潔な教えが、文字の読み書きを不得手とする当時の多くの武士に普及したため。 | 4. 阿弥陀仏を信じることで、死後は誰もが平等に極楽浄土へ行けるという教えが、戦乱に明け暮れる武士に安心を与えたため。 |
|--|--|--|---|
- 問7 室町時代、足利義満が中国の明と行った公式な貿易において、正式な貿易船であることを証明するために「勘合」と呼ばれる札が使われました。この札を使用した主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2015年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|---------------------------|--------------------------|------------------------|
| 1. キリスト教の布教を制限し、貿易を管理するため | 2. 朝鮮半島からの輸入品に税を課す基準とするため | 3. 幕府の許可を得た朱印船であることを示すため | 4. 倭寇（海賊）による密貿易と区別するため |
|---------------------------|---------------------------|--------------------------|------------------------|
- 問8 室町文化を代表する芸能である「能（能楽）」が、単なる庶民の娯楽から、幽玄な美を追求する洗練された芸術へと発展した背景として最も適切なものはどれですか。 (2016年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 室町幕府の第3代将軍である足利義満が、観阿弥・世阿弥親子の芸を高く評価し、手厚く保護したこと。 | 2. 明（中国）との貿易によって、大陸の高度な演劇理論が直接日本に持ち込まれ、猿楽に融合されたこと。 | 3. 出雲の阿国が京都の河原で始めた新しい踊りが、当時の有力な大名たちの間で流行したこと。 | 4. 江戸幕府の徳川家康が、武士の嗜みとして能を「式楽」に指定し、専門の役者を育成したこと。 |
|--|--|---|--|
- 問9 室町時代の1485年、現在の京都府南部にあたる地域で、地元の武士（国人）や農民が結束して守護大名の軍勢を国外へ追い出した出来事があります。その後、住民たちが合議によって約8年間にわたり地域を治めたこの出来事を何といいますか。 (2019年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|-----------|----------|------------|
| 1. 島原・天草一揆 | 2. 正長の士一揆 | 3. 山城国一揆 | 4. 加賀の一向一揆 |
|------------|-----------|----------|------------|
- 問10 京都府に位置し、世界遺産にも登録されている慈照寺（銀閣）の説明として正しいものはどれか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 平安時代に藤原頼通が極楽浄土を願って建立した建築物である | 2. 室町幕府の3代将軍足利義満が造営し、北山文化を代表する建築物である | 3. 安土桃山時代に豊臣秀吉が権威を示すために築いた建築物である | 4. 室町幕府の8代将軍足利義政が造営し、東山文化を代表する建築物である |
|---------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|
- 問11 室町幕府の第3代将軍で、1392年にそれまで約60年間続いていた分裂状態を解消し、南北朝の統一を実現した人物は誰ですか。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義満 | 2. 足利義教 | 3. 足利尊氏 | 4. 足利義政 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問12 室町時代、北陸や若狭地方から届く米や塩などの物資を、琵琶湖の水上輸送と陸上輸送を組み合わせることで京都へ運ぶ仕組みがありました。このとき、琵琶湖の港である大津や坂本から京都の間において、馬を利用して物資の搬送を行った運送業者を何と呼びますか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|------|-------|
| 1. 蔵元 | 2. 馬借 | 3. 座 | 4. 問丸 |
|-------|-------|------|-------|
- 問13 室町時代の農村社会において、村の自治組織である惣（惣村）が行っていた主な活動として、最も適切なものを次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|---|
| 1. 幕府から営業の独占権を得る代わりに税を納め、商売の権利を守った。 | 2. 同業者の組合を結成し、商品の販売ルートや価格を協定して利益を確保した。 | 3. 村の話し合いである寄合を開き、用水の管理や治安維持などを自主的に行った。 | 4. 幕府の命令により、年貢の納入や犯罪防止について村全体で連帯責任を負わされた。 |
|-------------------------------------|--|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 幕府が明（みん）との間で、倭寇と正式な貿易船を区別するための「勘合」を用いた貿易を開始し、財政を潤した時期にあたる。	鹿苑寺金閣を建立した足利義満は、明との間で日明貿易（勘合貿易）を始めました。この貿易による莫大な利益が、金箔をふんだんに使用した豪華な建築や、観阿弥・世阿弥による能の大成といった北山文化の発展を支える経済的基盤となりました。この時期は足利義満が南北朝の合体を成し遂げ、室町幕府の全盛期を築いた時代でもあります。
問2	答え 4 天皇中心の政治を目指して新しい方針を次々と打ち出したが、武士の慣習を無視したため支持を失い、短期間で失敗した。	後醍醐天皇は、鎌倉幕府滅亡後の1333年から天皇が自ら政治を行う理想を掲げましたが、その方針は公家を優遇し、武士の社会的な慣習や権利を軽視するものでした。武士の不満を背景に足利尊氏が反旗を翻すと、新政を支える基盤がなかったため、わずか2年ほどでこの政治体制は終わりを迎えました。
問3	答え 4 倭寇の活動を鎮圧して国内の安定を図るため	明は建国当初、国内の秩序を安定させる必要がありました。当時、東シナ海などの沿岸部では倭寇（日本人を含む海賊集団）が活発に活動しており、これを取り締まるとともに、民間人が勝手に海外勢力と結びつくのを防ぐために海外渡航や私的な貿易を禁止しました。これを海禁と呼びます。
問4	答え 1 貴族や寺社に税を納める代わりに、他者の参入を防いで営業を独占する権利を認められた。	中世の経済において、「座」は特定の権力者に経済的な利益（税）を差し出すことで、その見返りとして営業上の特権や、関所の通行税免除などの権利を獲得していました。この独占的な体制は、後に織田信長らが「楽市・楽座」によって座の特権を廃止し、商業を自由化するまで続けました。
問5	答え 2 朝貢貿易	室町時代の対明貿易は、当時の東アジアの国際秩序であった「華夷秩序」に基づいて行われました。足利義満は明の皇帝から「日本国王」として認められ、貢ぎ物を送ることで正式な外交ルートを確認しました。これにより、倭寇（海賊集団）と区別された安全な貿易が可能となり、多大な経済的利益と文化的な影響を日本にもたらしました。
問6	答え 1 自ら座禅を組み、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗の教えが、武士の精神的な支えとなったため。	禅宗は、自身の力（自力）で修行を積み、悟りを目指すという特徴を持っています。このストイックな姿勢が、命がけで戦う武士の気風に合ったことが普及の大きな要因となりました。これに伴い、禅の精神を反映した、無駄を削ぎ落として墨一色で本質を描こうとする水墨画の文化が、雪舟らによって発展しました。他の選択肢は浄土宗（他力本願）や真言宗（密教・現世利益）に関する説明です。
問7	答え 4 倭寇（海賊）による密貿易と区別するため	足利義満は明の皇帝から「日本国王」としての地位を認められ、公式な貿易を開始しました。当時、中国沿岸などで略奪を行っていた倭寇と、幕府が公認した正式な貿易船を明確に見分ける必要があったため、勘合という割符を合わせる仕組みが導入されました。このため、この貿易は勘合貿易（日明貿易）と呼ばれます。
問8	答え 1 室町幕府の第3代将軍である足利義満が、観阿弥・世阿弥親子の芸を高く評価し、手厚く保護したこと。	金閣を建立したことで知られる足利義満は、観阿弥・世阿弥親子の才能を見出し、強力な後援者となりました。将軍という時の最高権力者が保護を与えたことで、能は武家や公家の好みに合う、精神的で奥深い「幽玄」という美意識を重視する芸術へと高められました。江戸時代の式楽化や、出雲の阿国の活動は時代背景が異なります。
問9	答え 3 山城国一揆	応仁の乱の最中に、戦いに明け暮れる守護大名の畠山氏の軍勢を退去させるために起こりました。武士と農民が協力して「三十六人衆」と呼ばれる代表者を選び、自分たちで裁判や税の管理を行う「自治」を実現した点が歴史的に大きな特徴です。
問10	答え 4 室町幕府の8代将軍足利義政が造営し、東山文化を代表する建築物である	慈照寺（銀閣）は、応仁の乱の後に8代将軍足利義政によって建てられた。この時期に栄えた文化を東山文化といい、書院造や水墨画、茶の湯などが発達した。3代将軍義満が建てたのは鹿苑寺（金閣）で北山文化、藤原頼通が建てたのは平等院鳳凰堂（京都府宇治市）である。
問11	答え 1 足利義満	彼は室町幕府の基盤を固めた最盛期の将軍であり、南北朝を合一させることで政治的な混乱を収束させました。また、京都の北山に金閣を建立するなど、北山文化の中心人物としても知られています。
問12	答え 2 馬借	琵琶湖は北陸方面と京都を結ぶ物流の要所でした。湖上を船で運ばれてきた物資は、大津や坂本といった港で陸揚げされました。そこから消費地である京都までの陸路を担ったのが、馬に荷物を積んで運ぶ「馬借」と呼ばれる業者たちです。彼らは輸送を担うだけでなく、時には団結して徳政一揆を起こすなど、社会に大きな影響力を持つようになりました。
問13	答え 3 村の話し合いである寄合を開き、用水の管理や治安維持などを自主的に行った。	惣（惣村）では、農民たちが寄合と呼ばれる話し合いを行って村の決まりを定め、用水の管理や自衛などの自治活動を自主的に進めました。営業の独占権を得たのは「座」、連帯責任を負わされたのは「五人組」、商品の価格などを協定したのは「株仲間」の説明です。